

指定管理施設事業評価票(令和5年度分)

1. 施設所管課 観光経済部 部 足尾観光 課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市足尾環境学習センター				
	所在地	日光市足尾町銅親水公園内				
指定管理者	名称	特定非営利活動法人 足尾に緑を育てる会				
	代表者名	会長 齊藤 正三				
	住所	321-1523 日光市足尾町松原2番9号				
指定期間		令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日			5 年間	
選定方法		非公募		評価実施年	5 年間のうち 4 年目	
施設設置目的		日光市足尾公園条例に定める施設で、観光客の利用の促進を図り、本市の観光の振興及び公共の福祉の増進と生活文化の向上を目的としている。				
主な実施事業		・施設利用受付案内業務 ・誘客のための企画実施 足尾に生きる第2弾(自然と野生動物が織りなす神秘)・中倉山関連記念グッズ販売 ・周辺観光案内の業務				

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		目標		実績
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績			
a	入館者数	人	12,500	2,694	11,600	4,618	10,000	6,092	12,500	6,959			
b													
c													
d													
e													

4. 指定管理業務にかかる収支状況 (単位:円)

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
収入計	A	5,001,984	4,402,437	5,138,266	5,133,888	0
	指定管理料	4,019,260	3,730,000	4,197,963	4,080,745	
	利用料収入	C	371,570	516,510	735,270	801,710
	自主事業収入		130,414	155,927	205,033	159,483
	その他		480,740	0	91,950	
支出計		B	4,462,645	4,877,049	5,118,250	5,159,963 0
	指定事業費		4,398,938	4,794,351	5,047,746	5,089,088
	内人件費	D	2,835,420	2,770,563	2,880,640	2,961,000
	内外部委託費	E				
	自主事業費		63,707	82,698	70,504	70,875
事業収支		A-B	539,339	-474,612	20,016	-26,075 0
人件費率		D/B	63.54%	56.81%	56.28%	57.38% #DIV/0!
外部委託比率		E/B	0.00%	0.00%	0.00%	0.00% #DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	

サービス改善の状況

令和5年度は、第1展示室のエアコンが整備され、館内トイレ男女1箇所づつ洋式便器が整備された。
展示物の見直しについては、それぞれ公共機関に要望していく中で、職員が補えることは冬季期間中を利用して時代に沿った目新しい展示を進めていきたい。
しかし、展示映像器具については予算の関係もあり、すぐには取り換えは難しいが、順次改修を進めていくことが望ましい。
今後とも日光市と協議をして、より良い施設となるよう改善していきたい。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
① サービスの 履行の 確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	A	A
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	A	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	A	A
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	B	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B
② サービスの 質の評価	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	A	A
		避難経路が適切に確保されている。	A	A
	総括	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】	B	B
	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	A
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。	A	A
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	A	A
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	A
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
③ 安定性	環境配慮	協定書に従い、適切に修繕を行っている。	A	A
		環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	A	A
		広報活動	A	A
	苦情等対応	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	A
		要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	利用者アンケート	要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B
		利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	A	B
	利用状況	利用実績は、目標水準である。	B	B
		総括	B	B
	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B
		経理事務	A	A
		予算執行	B	B
		経費縮減	A	B
		収支状況	B	B
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	B
所見 (成果・課題等)		(指定管理者自己評価)		
		アンケート調査では、職員の対応や館内の案内について利用者から良い評価を得ている。		
		職員全員が同様の説明などができるための資料の作成や案内マニュアルを増やしながら毎年対応している。		
		個人利用者の多くは満足してもらっているが、新型コロナウイルス感染症感染拡大から、団体利用者が減少して戻っていないのが非常に厳しい。		
		利用収入が伸び悩み中であるが、自主事業を拡大して職員一同努力をしている。		
		(所管課評価)		
		施設や展示物の経年劣化が見られる中、お客様に対して親切丁寧な説明を行なったり、記念グッズやオリジナルダムカードを作成して配付するなど、利用者の満足度を上げようとしている。		
		行っている植樹体験と環境学習センターを結びつけた活動を実施するなど、利用者の増加を図るための事業取組みが図られている。		
		今後の課題としては、古くなった展示物の更新作業が必要であり、市と指定管理者とで連携して、利用者の満足感を得られるものを創り上げて行く必要がある。		
前年度総合評価		B(良好)	総合評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良)	=	協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
	B(良好)	=	協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
	C(要改善)	=	一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良)	=	評価項目のうち、A判定が80%以上
	B(良好)	=	A、C 以外
	C(要改善)	=	評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A(優良)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好)	=	A、C 以外
	C(要改善)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。